

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2738414
園名	麻の実幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

体育

<テーマの設定理由>

年間を通して、身体を動かす機会を多く設けている。
また、毎年10月上旬に運動会を実施し、個人競技の他、クラス対抗の競技を行っている。子どもたち同士で相談する機会も設け、より主体的に取り組めるよう進めていく。

2. 活動スケジュール

- ・毎日、運動遊びの時間を設け、体を動かす
- ・各学年毎月2回以上、専門の講師による体育指導として、様々な運動・動きを年間を通して行う（鉄棒、ボール、縄跳び、マット、プールなど）
- ・10/4 運動会にて個人競技や団体競技、クラス対抗競技を行う
その練習期間において、子どもたち同士で相談する機会を設ける
- ・（年長）3月にクラス対抗競技行う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・平らな園庭だけでなく、総合遊具、芝生のエリア、起伏のある丘エリア、体育館、備え付けプールなど、様々な運動を行える環境が園内に存在している
- ・運動用の教具としてマットや平均台、鉄棒などがある他、ボールやぽっくり、縄跳びを個人持ちあるいは一人ひとつずつ使用できるよう用意
- ・リレーやドッジボールの練習が子どもたちのタイミングで行えるよう、園庭にあらかじめ白線を引いておく。また、追加で要望があった場合は、すぐに準備を行えるような体制を整えている

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・毎日、外遊びの時間を設け、園庭、総合遊具、芝生、起伏のある丘で身体を動かした。
- ・雨天時は体育館にマットや平均台、滑り台などを出し運動したほか、夏にはプールあそびを行った。
- ・芝生エリアを使って四つ這い、ゴロゴロ、ジャンプなど素足での運動を行った。
- ・屋外プールを使っての泳ぎや、みんなでつくった波での遊びを楽しんだ。
- ・とび箱やマット運動など体育館で器具を使い、色々な技に挑戦したり、運動会では、玉入れや手旗を使っての身体表現も行った。
- ・園庭では鉄棒、ボール、縄とび、リレーなど行った。
- ・クラス対抗戦のドッジボール大会を全力で戦った。

<活動中の子供達の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

- ・素足で活動する芝生の感触を楽しんでいた。
- ・暑い日の水あそびやプールあそびを通じて、暑さや冷たさなどの季節感を感じていた。
- ・鉄棒や縄跳びなどの器具を使う運動においては、教員の見本を参考にしたり、友だちの技に刺激を受け、どうやったらできるか、コツを聞き合いながら挑戦する姿が多くあった。
- ・ドッジボール大会は技量に合わせたチーム分けをし、意欲や自信につなげていった。
- ・クラス対抗リレーでは、仲間としての協力の大切さを伝え、走順やバトン渡しの方法について話し合う機会を多く設けた。子どもたち同士で声を掛け合い練習する姿が多く見られた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・園の豊かな自然や広大な園庭、芝生、遊具やプールなどを更に活用していきたい。
- ・遊ぶ中で生まれた、子どもたちの発案による様々なルール新しい遊びが、さらに発展していけるような環境や関わりを考えていきたい。
- ・バトン渡しの方法やリレーの順番など、子どもたち同士で話し合いすることで、教員が声掛けするよりも高い意欲を保ったまま本番に臨めていた印象がある。
- ・様々な器具があることで、各々の好きな動きや得意な運動を積極的に楽しめている様子が多く、今後も種類や内容を精査していきたい。